

【支部総会報告】

京都支部

岩本大成(大6回生)

2018年度より学友会京都支部の役員を拝命いたしました、京都大学医学部附属病院の岩本大成(大6回生)です。微力ながら学友会のお役に立てればと思っております。

早速ではありますが、2020年1月25日(土)に島津製作所 三条工場内のホールをお借りして学友会京都支部総会を開催いたしました。総会開催にあたり、まず池 和秀支部長(65回生)よりご挨拶をいただき、遠藤啓吾学長、玉田 彰学友会会長(53回生)、岩井啓介奈良支部長(59回生)、新川秀和大阪支部長(63回生)、西関 剛滋賀支部長(65回生)よりご挨拶をいただきました。次に鈴木英文事務局長より母校の近況報告をいただき、オープンキャンパス参加者数が前年度よりも約1.6倍に増加しており、入学志願者数も増加し過去最高志願者数との大変喜ばしいご報告もいただきました。活動報告及び会計報告は異議なく承認され、総会は終了しました。

総会に続きまして、講演が始まり、まず島津製作所の河合益実氏より「島津製作所が取り組むアドバンスド・ヘルスケア研究開発について」をご講演いただきました。診断と分析を融合させることで、随時適切な治療が行われているかをモニタリングするための研究や装置などについて、大変貴重な情報をご提供いただきました。また、会員である山口浩輝氏(大8回生 済生会京都府病院)と松本 誉士樹氏(大8回生 北野病院)の両名から「友に学ぶ学生生活」と題して講演していただきました。お二人は学生時代に欧州核医学会での発表を経験されており、学生生活や海外発表に至るまでの経緯と、将来山口氏はRIのスペシャリストを、松本氏はバーサイリストを目指したいと今後の目標をお話いただき、講演が終了しました。

さらに今年度は、島津製作所内の施設見学が企画され、河合氏にご紹介いただいたクロマトグラフ装置など研究施設内の見学を行いました。

懇親会は神澤匡数兵庫支部長(短7回生)よりご祝辞をいただき、笠井俊文教授(49回生)の乾杯のご発声で始まりました。学生時代の思い出話や、日常診療での疑問をぶつけるなど大変盛り上がりました。また会の中ごろには、新入会員の紹介がありました。最後には西谷源展学友会副会長(44回生)よりご挨拶いただき、一丁締めで会が終了しました。そのあとも飲み足りないメンバーは二次会、三次会へと飲み歩き回ったのでした…。

最後になりましたが、ご参加くださいましたご来賓の皆様、会員の皆様、各企業の皆様、本当にありがとうございます。まもなく卒後5年目を迎えようとしており、学生生活が懐かしく感じるようになりました。皆様もぜひ学友会行事へにご参加いただき、当時の思い出を一度振り返ってみてはいかがでしょうか。次回もお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。皆様の益々のご多幸とご活躍を祈念し報告といたします。



以上